東京東村山ロータリークラブ　国際ロータリー第2580地区

週報

国際ロータリー・テーマ

ロータリーの未来は
あなたの手の中に

Vol.43　第2108回例会　2010.1.14

今年度会長テーマ　「誠心誠意、和をもって」“事にあたろう”

■司会：
石山例会運営委員

■点鐘：枕山会長

■合唱：ロータリーソング
「我らの生業」

◆ソングリーダー：
村田会員

■お客様紹介：
戸澤パスト会長

◆ゲスト：
米山奨学生　宋慧珍様

■会長報告　枕山会長

今年は世界規模での寒波のようで北米からヨーロッパ、アジア各地にマイナス60度の大きな寒気が張り出しているとのことです。新潟の津南などでは2mを超える積雪との報道もあり、これは8年ぶりとか。我々後期高齢者にとり体に大変こたえます。体調には十分気をつけて下さい。来週には暖かくなるようですので。
新年例会では寒い中多くの会員に参加頂き誠に有難うございました。先週の理事会報告をいたします。まず12月度収支報告を承認頂きました。次に市内駅伝大会賛助金は野崎征吉会員にお願いし届けさせていただきました。今年は残念ながら欠場しましたが、来年はまた参加できればと願っております。地区大会に向けてのテレホンカード提供に付きましては、多摩分区の分担金は10万円ですので皆様からお預かりしている特別会費5千円の中から、一人当たり500円を支出し充当しますのでテレホンカードを集めることは中止といたしました。
理事会で例会中に私語が多いとの指摘がありました。お互いのことですので慎むように宜しくお願いします。又これに関連しますが例会に欠席の会員が多いとの指摘もありましたので、皆様必ずメークアップをお願いいたします。

■例会日／毎週木曜日　12:30～13:30
■例会場／八坂神社　社務所
〒189-0013　東京都東村山市栄町3-35-1

■クラブ管理委員会／中丸　繁男　野村　高章
■事務所／〒189-0013
東京都東村山市栄町3-5-1ハイツむさしの101
TEL　042-393-7500

■幹事報告　　高橋幹事

■国際ロータリー日本事務局：
ベネファクター･ピンの受理　二ノ宮繁会員

■米山記念奨学会：
2009年度下期普通寄付のお願いについて
1月1日現在の会員数×寄付額

■東村山市防衛協会：
新年の集いの案内の受理
1月30日(土)　13:30～　　懇親会　14:30～
於　三光寿司

■ガバナー事務所：
・義援金の報告とお礼の受理
①兵庫県西北部豪雨災害義援金　1,835,188円
②台湾台風災害義援金　1,259,206円
(一覧表→回覧します)

・モントリオール国際大会登録者数の確認について

■国際奉仕委員会：
地区国際奉仕委員会の案内について
2010年1月22日(金)　14:00～
於　ホテルJALCITY那覇

■救世軍本営：
米山奨学生ソン･ヘジンさんあてのプレゼント送付について
1月中旬頃、米山奨学会を通じてクラブ宛て送付予定

■ローターアクト実行委員会：
2009～10年度第2580地区ローターアクト第41回年次大会の案内の受理
2010年3月6日(土)　14:00～点鐘
於　ホテルラングウッド

■福生中央ＲＣ：
第5回多摩分区連絡会の案内の受理
2010年2月3日(水)　16:00～
於　パレスホテル立川

■回覧：「友」インターネット速報 No.411
ハイライトよねやま
実家「青葉の森」

■出席報告　　中條例会運営委員

在籍会員数	出　席	免　除	欠　席	出席率
38	28	1	8	76.47

■前々回メークアップ修正後前々会欠席：1名
■前々回出席率メークアップ修正後：97.06%
■前々会メークアップ者：
神﨑会員：地区委員会
土田会員：東大和ＲＣ
山本会員：東大和ＲＣ

■ニコニコＢＯＸ　　高橋クラブ管理委員

■皆出席：
神﨑会員(17回目)
當麻(17回目)

■ご結婚祝月：
二ノ宮会員
高橋(徹)

■会員誕生祝月
嶋田会員、金子会員
二ノ宮会員
高橋(徹)会員

■令夫人誕生祝月：
五十嵐会員、土方会員
神﨑会員、野澤会員、
當麻会員、二ノ宮会員

◆枕山会長、高橋幹事：
会員の皆様、明けましておめでとう

ございます。いよいよ下期がスタート致しました。本年もよろしくお願いいたします。写真ありがとうございます。

◆神崎会員：久しぶりの例会場です。本年もよろしくお願いします。

◆村田会員：初例会です。今年もよろしくお願いします。

◆山本会員、石山会員、當麻会員、五十嵐会員、野澤会員、野崎(一)会員、二ノ宮会員、漆原会員、戸澤会員、金子会員：
写真ありがとうございました。

本日のニコニコ合計：　60,000円
累　　計　　：881,820円

■国際ロータリー日本事務局表彰

■ベネファクター：
二ノ宮会員

■委員長報告

■當麻国際奉仕・
会員研修委員長

モントリオール国際大会の参加スケジュールの詳細が固まりました。本日回覧させていただきましたので参加を宜しくお願いします。尚、団体扱いは15名以上となっていますので、15名以下となると割高となりますので皆様の参加を宜しくお願いいたします。
次に会員研修委員会からの報告をいたします。本日お手元にロータリーの友が配られていると思いますが、そこにも記載の通り今月はロータリー理解月間です。必ず記事のご一読をお願いします。
研修委員会では次の通り卓話を実施します。

第1回　1月28日(木)
　　ロータリーの歴史とポールハリス
第2回　3月18日(木)
　　ロータリーあれこれ　四大奉仕の解説
第3回　4月15日(木)
　　第1部　ロータリークイズ大会
　　第2部　研修委員会打ち上げ(懇親会)

以上宜しくお願いいたします。

■町田宜野湾友好委員

２月17日の地区大会終了後に宜野湾ＲＣメンバーと友好懇親会をグランドプリンス赤坂にて計画しております。昨秋、宜野湾を訪れ合同例会を開催した際には大変な歓迎を受けましたので、今回多くの会員の参加を宜しくお願いいたします。

■戸澤会員増強委員長

皆さん国旗やロータリー旗などの旗の数え方をご存知ですか？　１流・２流・３流(リュウ)と数えるそうです。
追伸　入会可能、見込みの方をご紹介下さい。

■クラブ協議会

■枚山会長

上期を振返り下期への展望

私はクラブテーマ「誠心誠意、和をもって」”事にあたろう”といたし復唱させていただきました。年頭にあたり上期におきまして、会員皆様のご協力によりまして無事に過ぎましたこと、心より感謝申し上げます。
昨年の大きな出来事とは、政治が大きく転換した事ではないでしょうか。自民党50年が大きく崩れ、民主党大躍進、3党連立政権が登場し、100日が経過をいたしました。これから多くの方々の期待に添えるのか、毎度申し上げますが、町の中が安いものならの風潮です。私の立場といたしましては、会員であった竹田光明君が晴れて衆議院の先生ですので、大いに期待したいところと思っています。
新年度2月16、17日ニューオータニに於きまして地区大会が行われます。今年の大きく変わりましたのは、2日間全員参加との呼び掛けですが、多摩分区と致しましては、松本ガバナー補佐提案のもと、第1日目は会長･幹事･4大奉仕委員長出席、

ＲＩ会長代理、ご夫妻歓迎晩餐会、閉宴20:00。2日目は全員で出席しましょう。なかなか2日間は出席できませんので、松本ガバナー補佐落とし所のうまさではないでしょうか。17日には登録11:00、点鐘12:00、15:20～記念講演「世界の構造転換と日本の針路－2010年への視座－」講師、寺島実郎様、懇親会18:35、その後、木下宜野湾友好委員長の元で所を変えプリンスホテルにて、大変お世話になりました宜野湾ロータリークラブ、仲吉サダ子会長はじめ皆様、お越しになります。懇親会が行われますので、こちらも揃ってご参加下さいませ。
1月からは会員研修委員会、當麻委員長のもとで、勉強会3回に渡り行われます。當麻委員長、樺澤襄、町田清二、三氏です。宜しくお願いをいたします。
3月3日ＩＭがホスト福生ＲＣにより、昭和館にて行われます。基調講演は、パストガバナー小澤秀瑛様でございます。クラブフォーラムは「クラブ運営幹事が7月から振返り、どう見て来たか今度にどう生かすか」我がクラブは高橋眞幹事です。
3月には漆原米山委員長、米山記念館への見学を予定しております。
6月モントリオール世界大会に参加しましょう。當麻国際委員長ただいま詳細に付きまして検討中です。多数の参加お願いいたします。以上で大きな事業がほぼ終わりとなります。
ここでロータリーの概要についてお話をさせて頂きます。ロータリーとは何でしょうか。答えはロータリアンの数だけあるかもしれません。創始者ポール･ハリスは1911年に合理的ロータリー主義と言う論文にこう書いております。「私が大きなコロシアムに立ち、あらゆるロータリアンを前にして、一言述べる機会に恵まれたとしたら、私は何のためらいもなく、あらん限りの声で叫ぶでしょう。「寛容」と」。ビルグルム･ファーザーズが、荒波に小舟で乗り出したのは、この寛容を求めたからです。フィラデルフィアで7月に鐘の音が響きわたり、自由の翼が花開いたのも、この旅立ちが出発点です。私達のロータリーが単に一過性のものでないとしたら、それは皆様も私も他の人の弱さ、寛容の価値を知ったからです。ロータリーはクラブの連合体という史上前例のないものです。自らの運命に責任を負う創意あふれる人が集まった、ということを除いてロータリーには何のルールもありません。羅針盤の発明前、船乗りが星を見ながら未知の海に乗り出したように、ロータリーの先駆者達は大昔からの人間の英知ともいうべきルールを守り、危険をはらむ未知の厳しい状況の中で巧みに船を進めてきました。私達が、これからも良識ある寛容という確かな航路、また他人の信念を思いやる心から逸脱しないことを願っています。ロータリーは、1905年の4人の会合から、ロータリー･クラブ結成、ロータリー･クラブ全米連合会、ロータリー･クラブ国際連合会、国際ロータリーへと発展していきますが、国際ロータリー理事会は現在ロータリーをどの様に定義しているのでしょうか。
「ロータリーは、人道的な奉仕を行い、あらゆる職業において高度の道徳的水準を守ることを奨励し、かつ世界における親善と平和の確立に寄与することを目指した、事業及び専門職務に携わる指導者が世界的に結び合った団体である」。
ポール･ハリス自身は、ロータリーが1つの都市の友情と奉仕のオアシスから発展し、人々の生活を改善する世界的な力になることを想像したでしょうか？ ポール･ハリスは言っています。
「いいえ」1905年には、ロータリーがこのような運動になろうとは予想もしてはいなかった。早春の頃、あまり大きくなりそうにない若木を植える時、人はいつの日かそれが隆々たる大木に育つであろうと確信できるだろうか。それは雨と太陽－神の摂理の微笑みに待たなければならないのではないか。若葉が初めて萌えいでいるのを見る時、その時こそ、人は大いなる木陰を夢見ることができるのである。
ロータリーは、人種、宗教、政治的信念を異にする人々を友好的、民主的で公平な雰囲気の中に包み込みます。この親睦の絆が、他者に奉仕する出発点となり、個人、職業、地域社会の生活においてロータリアンに充足感を与えます。インドの詩人のラビンドラナート･タゴールはこう書いています。「眠りつくとき、幸福な人生を夢見た。目覚めた時、人生は奉仕だと知った。奉仕してみて、幸福は奉仕にあると知った」。
ポール･ハリスがロータリーを創始したとき、世界を変えようなどと思った訳ではありません。米国の農村部のニューイングランド出身の若い弁護士は、世紀の変わり目のシカゴの産業の隆盛に追いついて行くのに必死でした。事業が盛んになりました。ですが、「風の強い街」として知られている。シカゴは労働争議の絶え間ない嵐の吹き荒れる所でした。雨に濡れ、つるつる滑る道路に油がこぼれ広がっていくかの様に、シカゴの町の境界が拡張していき、それに伴い、人口も爆発的に増えていきました。このように乱雑に拡張した大都会の生活は、テンポが速いものの孤独でした。ポールはシカゴに到着早々、嘆いていました。「何処にも人はいる。友達はどこにもいない」。
ポールは、この疎外感を克服しようとして、3人の知人を誘い、これまで温めてきた考えを話し合いました。この3人のうちの1人、鉱山技師のガスターバス･E･ローアの事務所で、1905年2月23日の夕刻に会合を開くことで意見が一致しました。他の2人は石炭商のシルベスター･シールと仕立業のハイラム･ショーレーでした。定期的に集まり友情を分かち合い、事業と専門職務の知り合いの輪を広げることをこの3人はどう考えたでしょうか。ポールは知りたいと思いました。皆は、大変価値のある考えだと思いました。4人は、ノースディアポン街127のユニティ･ビルディングの711号室のガスターバス･ローアの事務所で会合を開き続けました。この最初の例会場を作り直した711号室は、現在国際ロータリー本部建物の中に復元されています。
この4人は互いの事務所で(輪番)会合を開くことを決定しました。4人は、この羽ばたこうとしているグループの名称として「ロータリー」、会員を

「ロータリアン」と呼ぶことを決めました。
ロータリーの創始者達は、印刷業のハリー・ラッグルズを誘いました。ハリー・ラッグルズの入会後、5人で正式にシカゴ・ロータリー・クラブを組織いたしました。しかし、間もなくロータリアンたちは気付きました。親睦と相互の利益だけでは、多忙な職業人のクラブで毎週会合を開き続けることができないと。恵まれない人の生活を高めるために手を差し伸べる事のほうが、会合を開き続けるための強力な動機になることが分かりました。「超我の奉仕」がロータリーの標語になりました。そして、会員が増えるにつれ、例会場はロータリアンの事務所からホテルやレストランに移りました。現在、多くの例会場はホテルやレストランです。
「超我の奉仕」は1911年の国際大会でのスピーチでミネアポリスＲＣ会長のフランク・コリンズが「無私の奉仕」という言葉を最初に使い、後に超我の奉仕に修正されたものです。ロータリーの第2標語「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」は、1910年にアーサー・シェルドンが、ロータリー・クラブ全米連合会の晩餐会の席で、道義心のある実業人を「自分の仲間に最もよく奉仕するものは最も多く報いられる」と表現したものを翌年のポートランド国際大会で少し文言を替えて述べたものです。
1907年にシカゴＲＣは最初の社会奉仕プロジェクトを実施しました。シカゴ市役所の近くに公衆便所を作ったのです。ロータリーという団体の奉仕活動が世に広く知られると、奉仕の理想はたちまち歓迎され、各地で導入される様になりました。2年後には2番目のロータリー・クラブが、米国カリフォルニア州サンフランシスコで結成されました。米国以外の最初のクラブは、1910年にカナダ、マニトバ州ウィニペグで設立されました。1911年にはロータリーは大西洋を渡り、北アイルランドのベルファストとアイルランドのダブリンにクラブが設立されました。同年、ロータリーの機関雑誌、ロータリアン誌の前身のナショナル・ロータリアンが発刊されました。1912年にはイングランドでロンドンＲＣが設立されました。1920年代にロータリーは国境、人種、言語、宗教を越えて世界に広がりました。ヨーロッパ、中南米、オーストラリア、アフリカ、アジアで続々とクラブが設立されました。アジアで最初のロータリークラブとして1919年にマニラＲＣが設立されました。
日本のロータリー創始者と呼ばれる米山梅吉は、1918年1月、目賀田種太郎男爵を団長とする、財政調査団に加わり渡米し、最初の日本人ロータリアンであり、ダラスＲＣ会員の福島喜三次と出会い、ロータリーに深い関心をいだきます。1920年には福島喜三次も帰国し、在日米国人実業家のウィリアム・ジョンストンの協力を得て、1920年10月に創立総会を開き1921年4月に東京ＲＣが加盟承認されました。日本で最初のロータリー・クラブです。次いで大阪ロータリー・クラブが1923年2月に加盟承認され、神戸、名古屋、京都、横浜にもロータリー・クラブが結成されましたが、第二次世界大戦が勃発し、ドイツ、オーストラリア、イタリアのロータリーが解散し、1940年には日本のロータリー・クラブも相次いで国際ロータリーを脱会しました。東京ＲＣの解散に際し、米山梅吉は「重い足を引きずって私は今此処に立つ、こんなつらい気持ちで皆様に語らねばならぬのは20年来初めてのことである。私はただかかる結末になったことをお詫びしたい。しかし我々としても時の流れに徒、手をこまねいておったのではない。日満ロータリーの建設ごときもその現れである。しかし、時代の流れは余りに急激であった」と述べました。国際ロータリー脱会後は、京都水曜会、東京水曜クラブ、福岡清和会、横浜同人会、北海道では職能協議会などが存続しました。どんな苦労がありましても「ロータリーの精神」は、脈々と受け継がれ今日に至りました。

■高橋幹事

下期運営について

会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。昨年は大変お世話になりました。ありがとうございます。クラブ幹事という大きなお役を頂きながら、自分自身の認識不足、そして勉強不足により運営遂行にご迷惑をお掛け致しています事を深くお詫び申し上げます。
例会に於いても恥ずかしい話、色々と失敗が多くありました。そんな時、会長経験者のある方から幹事、「幹事になってみんな初めて勉強するんだよ、一生懸命やればいいよ!!」と諭して下さいました言葉に心から救われました。甘えてはいけない事ですが、多くの会員さんに支えて頂きました事に重ねて御礼申し上げます。
それでは下期の運営について幹事として抱負を述べさせて頂きます。
早いもので残り6ヵ月となりました。まだまだ勉強中でわからない事だらけですが、事業計画の中では既に次年度がらみの流れも生まれつつあります。
3月には次年度会長の研修会であるペッツが行われます。そのような中、クラブ幹事として活気に満ちた、楽しいクラブ運営がなされるようクラブ奉仕委員長はじめ各種委員長さんと更なる連携を密に取り、会長方針が円滑に遂行されるよう努力してまいります。
大変恐縮ですが幹事としてお願いが一つあります。上期で一番気になった事ですが、それは例会中の私語が最近多く目立つようになった様に思われます。例会は1時間であります。発表者の方にも心を向けて頂き、下期はさわやかな例会を進めたい

と思っております。どうぞよろしくご協力下さいますよう、お願い申し上げます。ありがとうございました。

■21年12月出席表

	氏　　名	3	10	19	24	31	
名	細渕　一男						
1	相羽　　正	○	○	○	○		100
2	赤木　盛一		○	○	○		75
3	土方　義一	○	○	○	○		100
4	飯田　能士		○				25
5	石山　　敬	○	△	○	○		100
6	樺澤　　襄	○	○	○	○		100
7	金子　哲男	○	△	○	○		100
8	神崎　　武	○	△	○	△		100
9	北久保眞道	△	○	△	○		100
10	熊木　敏己	△	○		○		75
11	小町　幸生	○	○	○	○		100
12	町田　清二	○	○	○	○		100
13	溝井　英征	免除	免除	免除	免除		
14	目時　俊一	○	△	○	○		100
15	村越　政光				○		25
16	村田　秀雄	○			○		50
17	中條　基成	○	△	○	○		100
18	中丸　繁男	○	○	○	○		100
19	二ノ宮　繁	△	○	○	○		100
20	野村　高章	○	○	○	○		100
21	野崎　一重	○	○	○	○		100
22	野崎　征吉	○	○	○	○		100
23	野澤　秀夫	△	○	○	○		100
24	嶋田　憲三	○	○	○	○		100
25	枚山　佳雄	○	○	○	○		100
26	高橋　　徹	○			○		50
27	高橋　　眞	○	○	○	○		100
28	田中　重義	○	○	○	○		100
29	土田　士郎				△		25
30	當間　　眞	△	○	○	○		100
31	當麻　　誠	○	○	○	○		100
32	戸澤　　忠	△	○	○	○		100
33	漆原　次男	○	△	○	○		100
34	山本　智治	○	○	○	△		100
35	吉川　武男	○	○	○	○		100
公式平均		88.24	88.24	82.35	97.06		88.97
出席規定適用免除者							
1	隅屋　宜一	○			○		
2	五十嵐光利	○	○	○	○	○	
3	木下　清一	○	○	○	○		

名：名誉会員　　○：出席　　△：メークアップ

■点鐘：枚山会長